

『生徒心得』

知名中学校生徒として自覚と誇りを持ち、学業に励み、機敏に行動し、決まりやルールを守り、集団生活の場である学校をより良いものにするため次の事を実践します。

第1章 知名中学校の1日の流れ

◇1日の生活の流れ

登校・・・8：00までの登校・着席を心がけ、8：10にはカバンや道具を整理して自分の席で読書の準備をすること。

※欠席・遅刻の場合、必ず保護者の方から連絡をしてもらうこと。

朝読書・・・8：15～8：30です。良書を読み、深い知識を身につけよう。

※第2金曜日は全校朝会・最終金曜日は生徒朝会があります。

昼休み・・・給食終了後必ず体育服に着替える。

清掃・・・予鈴で急いで担当場所に行き、時間いっぱい、「精いっぱい」作業に取り組む。終了後、後始末と反省を行い、更衣をすませて5校時の授業の準備をする。

教科連絡・・・係の生徒は必ず「昼休み」までに教科連絡をすませ、学活で連絡をする。

放課後・・・短学活終了後すぐに下校すること。係の仕事などで放課後残る生徒は必ず担任や担当の先生に連絡をすること。

※ 日直は必ず最後まで責任を持って仕事をすること。

※ 忘れ物があった場合は、職員室の電話で連絡をとるか、放課後のみに取りに帰る。

第2章 基本的生活習慣を身につけよう

1. 規則正しい生活のリズムを身につける。
2. 正しい学習態度を身につける。
3. 時間を守る。
4. 服装や容儀をしっかりする。
5. 礼儀作法をしっかりする。(※止まって、あいさつ)
6. 身の回りの整理整頓をしっかりする。
7. 登下校のマナーを守る。

第3章 服装規定を守ろう

- ・ 標準学生服を着用する場合は、夏服は半袖白の開襟シャツ、冬服は長袖白のカッターシャツを着用する。ベルトは黒とし(装飾のあるものは不可)、インナーは華美でないものとする。ズボン丈も長いものや短いものは自分の体型に合わせること。
- ・ 学校指定のセーラー服を着用する場合は、インナーは華美でないもの(ワンポイント可、色指定なし)とする。スカート丈は、ヒザが隠れる長さにする。極端に長いものは調整すること。
- ・ ネームは冬服・夏服ともにしっかりとつける。
- ・ 靴下の色はダーク系、白、グレーの単色とする。ただし、靴で隠れる部分が、指定色であればツートンを認める。なお、長さはくるぶしが隠れものとし、小さなワンポイントを認める。
- ・ 靴は白の運動のできるヒモ靴。色つきのひもやハイカットタイプは認めない。
- ・ ジャージを着用する場合は担任または教科担任に申し出ること。(登下校時や授業で必要なときは認めるが、それ以外は原則制服で授業をうける。)
- ・ 手袋、タイツ、マフラー等の着用は12月～3月の時期のみ許可する

第4章 頭髪規定を守ろう

中学生らしい清潔感あふれる髪型で、意識を高く持つこと。

- ・ 前髪は、目の健康を守るために目にかからない長さにしよう。
 - ・ 横や後ろ髪は、清潔感を保てるようにしよう。
 - ・ 前髪や後ろ髪が長い場合には必ずピンやゴムで結ぶ。色は華美でないものとする。
- ※ 縮毛矯正については担任に相談してください。

【確認事項】 ※次の事項は注意や指導を受けることになります。

- ・ 脱色や染色、剃りこみ
 - ・ 整髪料の使用
 - ・ 眉毛を剃る／抜く
 - ・ パーマ
 - ・ 化粧やマニキュア、色や香り付きのリップ
 - ・ ピアスやブレスレット、ミサンガ等のアクセサリ
- ※ 特別な事情がある場合は、担任を通じて相談すること。

第5章 携行品規定を守ろう

通学カバン：学校指定の通学カバンとする。シールを貼ったり、落書きをしたりしない。

補助バッグ：特に学校指定のものはないので各自で準備する。派手ではないバッグや手提げカバンとする。

キーホルダー：他の人と区別しやすいように1つは付けることを認めるがあまりにも大きなものは付けない。

制汗剤：使用は認める。ただし、匂いについて他者に配慮すること。

日焼け止め：使用を認める。ただし、無着色とし匂いについて他者に配慮すること。

※ 制汗剤・日焼け止めクリーム共に使用場所は更衣室に限る。

携帯電話：学校への持ち込みは禁止とする。

スリッパ：破損しているものを履かない。落書きをしない。投げて遊ばない。